

— 指定テキストおよびリポートノートの追加・訂正・補足 —

以下の科目は追加・訂正・補足があります。配本されたテキストはすでに訂正されているものもあります。

科目名	種別	掲載更新
刑事訴訟法	通教テキスト	2010 年 3 月
刑法総論	通教テキスト	2020 年 3 月
刑法各論	通教テキスト	2022 年 3 月

[通教テキスト]

■刑事訴訟法	(福井厚)
--------	-------

p.25 上から 12 ～ 14 行目

(誤) …制度として、(i)不利益取扱いの禁止 (裁判員 71 条)、(ii)裁判員を特定するに足る情報の取扱い (同 72 条)、(iii)裁判員又は補充裁判員に対する接触の禁止 (同 73 条)、に…

(正) …制度として、(i)不利益取扱いの禁止 (裁判員 100 条)、(ii)裁判員を特定するに足る情報の取扱い (同 101 条)、(iii)裁判員又は補充裁判員に対する接触の禁止 (同 102 条)、に…

p.25 下から 14 ～ 11 行目

(誤) 裁判員等に対する請託罪等 (裁判員 77 条)、裁判員等に対する威迫罪 (同 78 条)、裁判員等による秘密漏示罪 (同 79 条)、裁判員の氏名等秘密漏示罪 (同 80 条)、裁判員候補者による虚偽記載罪等 (同 81 条) の罰則や裁判員候補者の虚偽記載等 (同 82 条) 及び不出頭 (同 83 条) に対する過料規定も…

(正) 裁判員等に対する請託罪等 (裁判員 106 条)、裁判員等に対する威迫罪 (同 107 条)、裁判員等による秘密漏示罪 (同 108 条)、裁判員の氏名等秘密漏示罪 (同 109 条)、裁判員候補者による虚偽記載罪等 (同 110 条) の罰則や裁判員候補者の虚偽記載等 (同 111 条) 及び不出頭 (同 112 条) に対する過料規定も…

p.25 下から 4 行目

(誤) 裁判所速記官・同補 (裁 60 条の 2・60 条の 3)

(正) 裁判所速記官 (裁 60 条の 2)

p.35 上から 2 行目

(誤) (291 条 2 項、規 197 条 1 項)。

(正) (291 条 3 項、規 197 条 1 項)。

p.171 下から 5 行目

(誤) (ロ) (因対象説)。

(正) (ロ) (誣因対象説)。

p.245 上から 10 行目

(誤) …過料が課されます (同 83 条 3 号)。

(正) …過料が課されます (同 112 条 4 号)。

p.247 上から 6 行目

(誤) …守秘義務が課せられています (同 70 条 1 項・79 条。……)。

(正) …守秘義務が課せられています (同 70 条 1 項・108 条。……)。

p.247 下から 7 行目

(誤) …必要がありますが (裁判員 63 条 1 項本文)、…

(正) …必要がありますが (裁判員 63 条 1 項本文・112 条 5 号)、…

p.354 上から 11 行目

(誤) 受刑者に仮出獄の…

(正) 受刑者に仮釈放の…

2010 年 3 月現在

■刑法総論

(今井猛嘉)

文献表

本書の以下の章は、参考文献（今井執筆部分）を踏まえ、そこに法令の改廃、判例の展開等に応じた記述を加え、不要となった記述を削除しつつ、その全体を要約したものである。

本書の章	参考文献（共著を含め、今井猛嘉執筆部分のみ）
3 刑法の基本原則	今井猛嘉『刑法総論〔第2版〕』（今井猛嘉＝小林憲太郎＝島田聡一郎＝橋爪隆著）有斐閣，2012，p8-25
4 構成要件該当性	今井猛嘉『刑法総論〔第2版〕』前掲書、p29-42
5 違法性	今井猛嘉『注釈刑法 第1巻 総論』（西田典之ほか編）有斐閣，2010，p325-346、p377-421
6 緊急行為 （緊急避難、正当防衛）	今井猛嘉「世界の中の日本刑法」，法学教室 371 号（2011）p10～17、
	今井猛嘉「侵害の急迫性（昭和 52.7.21 最高一小決）」，『刑法判例百選（1）総論〔第7版〕』（2014）p48～49、
	今井猛嘉「共犯と過剰防衛（平成 4.6.5 最高二小決）」，『刑法判例百選（1）総論〔第6版〕』（2008）p180～181
7 責任	今井猛嘉『刑法総論〔第2版〕』前掲書、p264-277
	今井猛嘉「注意義務の存否・内容（1）——信頼の原則（昭和 42.10.13 最高二小判）」，『刑法判例百選（1）総論〔第5版〕』（2003）p106～107
8 未遂	今井猛嘉「客観的未遂概念」，法学教室 137 巻（1992）p25
9 共犯	今井猛嘉「共犯（60～65条）」，法学教室 261 号（2002）p26～29

2020 年 3 月現在

■刑法各論

(今井猛嘉)

『刑法各論』第3版 文献表

本書の以下の章は、下記参考文献（今井執筆部分）を踏まえ、法令の改廃、判例の展開等に応じた記述を加え、不要となった記述を削除しつつ、全体を要約したものである。

本書の章	参考文献（共著を含め、今井猛嘉執筆部分のみ）
1 個人的法益に対する罪（名誉毀損罪）	今井猛嘉『裁判例コンメンタール刑法』第3巻（西田典之他編）立花書房，2006，pp.65-93
2 社会的法益に対する罪（偽造罪）	今井猛嘉『刑法各論〔第2版〕』（今井猛嘉＝小林憲太郎＝島田聡一郎＝橋爪隆著）有斐閣，2013，pp.323-375
3 国家的法益に対する罪（賄賂罪）	今井猛嘉『刑法各論〔第2版〕』（今井猛嘉＝小林憲太郎＝島田聡一郎＝橋爪隆著）有斐閣，2013，pp.446-461

2022 年 3 月現在